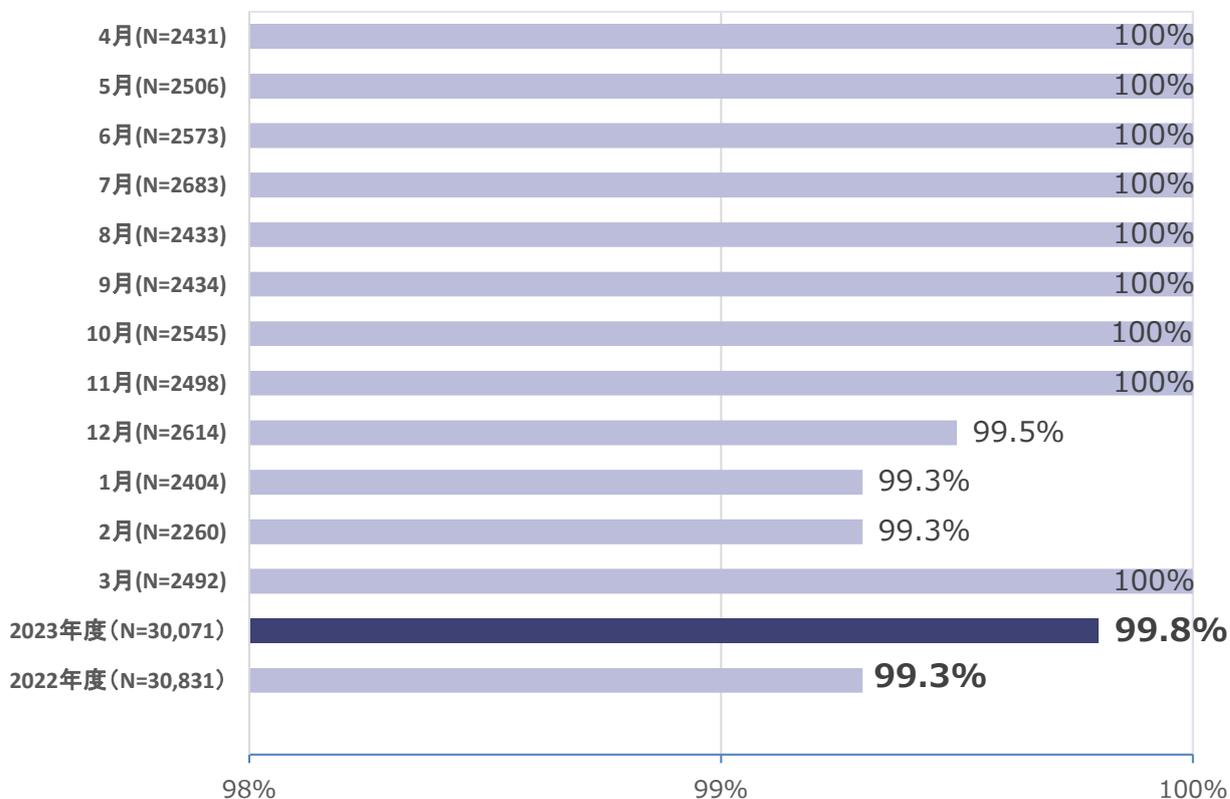


## 平日勤務時間内に施行したCT,MR検査の24時間以内読影実施率

読影料（いわゆる画像管理加算2）を算定するためには、24時間読影率が80%以上であることが要件となっています。このため、常にこのことを念頭に置いて読影に当たることが重要と考えます。

データからは余裕をもってクリアしているように見えますが、読影を先延ばしにすると、どんどん滞っていくため毎日の目標として達成することが肝要です。



### 当院値の定義・算出方法

**分子：** 検査施行時より24時間以内に読影が確定された症例数  
**分母：** 平日8:30～17:30の間に施行されたCT, MR全検査数

$$\frac{\text{分子}}{\text{分母}} \times 100(\%)$$

※グラフ中のN数は分母の値を示しています。

### 今後のとりくみ

前年度に引き続きIVR等の他の業務とのバランスを取りながら、スタッフ全員がこの指標達成の意義を念頭に置きつつ、日々の読影に努めています。それに加えて特に臨床的に迅速な診断が要求されるケースでは、検査後2時間以内の読影を目安に読影完了できるように心がけています。

文責：放射線科主任部長  
中山 智博